

第19回 ジャパンオープンハンドボールトーナメント 戦評報告書

競技日	平成26年 8月11日	試合番号	D-ソ
種別・回戦	女子・3位決定戦	会場	貴志川体育館

きょうとくらぶ 京都クラブ			シーコルズ		得点チェック欄	
25	12	前半	14	20	前半	<input type="checkbox"/>
	13	後半	6		後半	<input type="checkbox"/>
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>
		第2延長 後半			合計点	<input type="checkbox"/>
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>

戦評	戦評委員氏名	大東 裕
----	--------	------

3位決定戦、京都クラブとシーコルズの対戦。シーコルズのスローオフで試合開始。開始早々シーコルズ5番親泊のロングシュートが決まるが、すぐに京都クラブ左利きの6番泉本がロングシュートを決め同点とした。その後シーコルズは多彩な攻撃で着実に点を決めたが、京都クラブ2番坪井のロングシュートが要所で決まった。また、5番上村のはつらつとしたプレーできっかけを作り、15分と同点に追いついた。その後一進一退で点の取り合いとなった。シーコルズの2番西銘の華麗なサイドシュートと17番新城の速攻をきっかけに3点差に広げ、京都クラブがすかさずタイムアウトをとった。すぐさま京都クラブは7番鐘ヶ江がロングシュートで反撃し、前半を12対14で折り返した。

後半始めに京都クラブの6番泉本、7番鐘ヶ江が鮮やかにロングシュートを決め、逆転した。その後シーコルズは5番親泊がロングシュートを決め、同点にした。後半11分すぎに京都クラブが退場者を出し、その間にシーコルズは数的優位を利用し、17番新城が絶妙なカットインで得点を決めた。後半15分京都クラブは5番上村のカットインで攻撃のチャンスを作ったり、サイドからのスピンシュートをきっかけに流れをつかみ5点差に広げ、25対20で勝利を収めた。

送信担当記録委員

的場 知嘉子

